

|                |   |           |                         |         |
|----------------|---|-----------|-------------------------|---------|
| 科目名            | 生活経済学   | 科目分類      | ■専門科目群 □総合科目群           |         |
|                |   |           | 経済学科                    | □必修 ■選択 |
|                |   |           | 学科                      | □必修 □選択 |
| 英文表記           | Life Economics  | 開講年次      | ■1年 □2年 □3年 □4年         |         |
|                |   | 開講期間      | □前期 ■後期 □通年 □集中         |         |
| ふりがな           | フカサワ ヤスオ  | 実務家教員担当科目 | 修得単位                    | 2単位     |
| 担当者名           | 深澤 泰郎   | 実施方法      | ■対面のみ □遠隔のみ<br>□対面・遠隔併用 |         |
| 授業のテーマ         | 日本の多くの人々の生活水準は、明らかに低下し、実質所得の格差、現役世代が不利になる方向で世代間の格差は拡大しています。このことを経済データで確認し、解決策を探ります。また、 <b>金融の基礎知識</b> についても学びます。  |           |                         |         |
| 到達目標           | この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。<br>1. 日本の2つの格差問題、世代間格差と全体格差の実態が理解でき、なぜか普通の人々は貧しくなっている実態が、明確に理解できる。<br>2. 個人として、2つの格差から逃れる手段が明瞭となり、今後の人生にたいする意識付けが可能となる。 |           |                         |         |
| 授業概要           | 受講者数にも左右されるが、理想としては、事前に配布資料に目を通してもらい、授業中には可能な限り、各項目についての質問を行う。経済指標等のデータに基づき理論を確認し、その上で自ら考える姿勢の基礎を身につけてもらいたい。  |           |                         |         |
| 授業計画           |   |           |                         |         |
| 第1回            | イントロダクション：現在の世界経済の状況、GDPとは何か？ 配布資料  |           |                         |         |
| 第2回            | 日本の立ち位置、秋田県経済の概要 配布資料   |           |                         |         |
| 第3回            | 日本の人口問題（1） 配布資料   |           |                         |         |
| 第4回            | 日本の人口問題（2） 配布資料   |           |                         |         |
| 第5回            | 未婚の経済的要因（1） 配布資料  |           |                         |         |
| 第6回            | 未婚の経済的要因（2） 配布資料 アンケート調査  |           |                         |         |
| 第7回            | 債券の基礎と現在価値 配布資料   |           |                         |         |
| 第8回            | 中間レポート（持ち込み可） 回答と解説   |           |                         |         |
| 第9回            | クレジットリスクとは？ 配布資料  |           |                         |         |
| 第10回           | オプションとは何か？ 配布資料   |           |                         |         |
| 第11回           | 世代間格差 社会保険制度はここまで不平等なのか？（1） 世代間戦争 配布資料  |           |                         |         |
| 第12回           | 世代間格差 社会保険制度はここまで不平等なのか？（2） 公的年金制度のおかしな実態 配布資料  |           |                         |         |
| 第13回           | 社会保険料の実際の計算 配布資料（予定）  |           |                         |         |
| 第14回           | 日本の世代間格差の検証（1） 配布資料（予定）   |           |                         |         |
| 第15回           | 日本の世代間格差の検証（2） 配布資料（予定）   |           |                         |         |
| 第16回           | 定期試験（持ち込み不可）、期末レポート（持ち込み可）  |           |                         |         |
| 授業時間外の学習       | 配布資料は事前に通読し、疑問点があれば質問すること（約0.5～1時間）。<br>確認のための復習をすること（約0.5～1時間）。  |           |                         |         |
| 履修条件<br>受講のルール | マクロ経済学Ⅰの単位を取得済みか、少なくとも同時に履修すること。<br><b>資料は事前に配布するようにしますが、欠席した場合は研究室に取りに来てください。</b><br>受講者の理解度等を考慮して、シラバスを変更する場合があります。<br>この授業は1年生にはやや難易度が高いと思います。         |           |                         |         |

|                   |   |
|-------------------|---|
| テキスト              | 配布資料等   |
| 参考文献・資料           | 日本経済と財政危機の本質シリーズ1「崩壊する家族!」、同シリーズ6「日本の構造問題 世代間格差! 社会保険制度はここまで不平等なのか!」、同シリーズ1「日本が抱える大きな重荷! 激減する人口と消滅する地方都市」いずれも深澤泰郎 |
| 成績評価の方法           | 中間テスト (40%)、定期試験 (10%)、期末テスト (40%)、その他(10%)<br>出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。           |
| オフィスアワー           | 火曜日 13:00～14:30 14:40～16:10<br>金曜日 13:00～14:30 14:40～16:10  |
| 成績評価基準            | 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)  |
| 実務経験及び実務を活かした授業内容 |   |
| 学生へのメッセージ         | 受講することによって、全体としては、将来的には暗い日本経済の中で、「個人として幸福になるために努力する」覚悟が定まると思います。またそのような生き方も探ります。                                  |